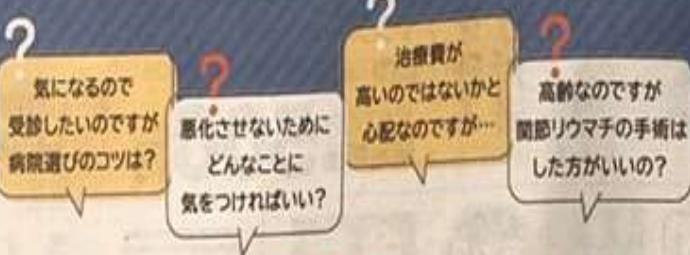


[応募締切]

2022年

9/18(日)



あなたの疑問に専門医が答えます!

どんな疑問・質問でも結構です。ぜひ、下記までご応募ください!

東京新聞本紙の中で、12月から毎月4回にわたり関節リウマチの専門家の医師が回答します。

私たちが
お答え
します!



世田谷区立
大友内科リウマチ科 千歳烏山院
院長
大友 耕太郎 先生



JCHO
東京山手メディカルセンター
リウマチ・膝部病・内科 部長
金子 駿太 先生



成増慶友整形外科リウマチ科
院長
森澤 妥 先生



富士森内科クリニック
リウマチ科 院長
清川 重人 先生

ご応募はメールでお気軽に

【応募方法】下記いずれかの方法でメールにて質問をお送りください。

① 二段コードをスマートフォンで読み取る：バーコードリーダー機能のあるスマートフォンで左の二段コードを読み取ります。先に自動入力されたメールが立ち上りますので、ご質問を入力し送信してください。

② メールアドレスを入力：メールアドレスを立ち上げ、先に下記アドレスを入力、ご質問を入力し送信してください。
ra@braincafe.net

【注意事項】 *全ての質問にお答えすることはできませんので、あらかじめご了承ください。 *質問への回答は紙面にて行い、直接ご連絡することはありません。 *いたいたい質問の文句には、複数時に手を加えさせていただく場合があります。 *お急ぎの質問や気になる症状がある場合は、直附近の医療機関を受診してください。 *メールの送信には、追加料金がかかります。 *メールの送信先は、治療成績データの協力会員となります。 *メールアドレスなどの個人情報は、本件以外の目的で使用することはありません。

その痛み、「関節リウマチ」かも!?

「関節リウマチ」って、
どんな病気ですか？

関節リウマチとは何らかの原因

で異常をきたした免疫が、自分の

関節を攻撃してしまった病気です。

原因は不明ですが、遺伝的要素に

加えて、喫煙・糖尿病・腸内細菌の

乱れなどの関係も指摘されてい

ます。

関節リウマチかどうかは、問診・

診察に加え血液検査やレントゲン・

関節エコーなどの画像検査を経て

診断します。治療は免疫抑制剤を

中心とした薬物療法が基本で、患

者の状態をみながら抗リウマ

チ葉や関節症状の改善に投立つ生

物的製剤、ステロイド剤や痛み

止めなども併用します。生活面で、患

者はストレスを避け、十分な睡眠を

とり、炎症が強い時以外は適度な

運動によって関節・筋肉を鍛えるこ

とも大切です。

早期発見・早期治療で
快適でハッピーな生活を
目指しましょう！



世田谷区立 大友内科リウマチ科 千歳烏山院

院長 **大友 耕太郎 先生**

医学博士、日本リウマチ学会専門医・指導医、
日本内科学会認定医・総合内科専門医・指導医

*1 日本リウマチ学会Web
サイト「リウマチ性疾患と
検査、薬剤について」
*2 理学療法士連合会医療実務委員会
リウマチ等対策委員会
会員登録 平成30年

日本人の
60~
100万人
が発症

男:女
1:4
女性患者数は
男性の約4倍

40~
60歳代の
既往が多い

リウマチほっとネット

リウマチほっとネット



監修：成増慶友整形外科